

## 靴底厚計測器について

一般財団法人 静岡陸上競技協会

永田 勝久

E-mail [ka-nagata@mail.wbs.ne.jp](mailto:ka-nagata@mail.wbs.ne.jp)

携帯電話番号 090-1756-1046

### 試作した靴底厚計測器の使用方法

#### 1 基本的な計測方法

計測器に付属した丸棒を靴の内部に当てれば、概ねの靴底厚が測定できます。棒の20の線の位置が門型の上部より下になれば、靴底厚は20mm以下の厚さになります。20の線から25の線の間であれば20mm以上25mm以下の厚さになります。25の線から40の線の間であれば25mm以上40mm以下の厚さになります。40の線より上になれば、靴底厚は40mm以上になります。

#### 2 線が中途半端な場合

線が微妙な位置にある場合には、150mm以上のノギスを使用してください。150mm以上のノギスは第1種、第2種の競技場は必備器具です。丸棒を引き抜いて穴を使用するとノギスを安定させて測定ができます。門型の上と下の板との間隔を測定し、次に靴を置いて靴の内部に当てて間隔を測定して、その差を計算すれば靴底厚が分かります。

#### 3 計測位置

計測位置は、幅方向は靴の中央、かかと部分はかかとから12パーセント、つま先部分はかかとから75パーセントと決まっています。これを実際の靴で考えると、男子の大きめの靴でかかと部分はかかとから約30mm、女子の小さめの靴でかかとから約25mmになります。つま先部分は男子の大きめの靴でつま先から約60mm、女子の小さめの靴でつま先から約50mmになります。本計測器は丸棒の位置が門型の左右は中央、前後は短い方から30mmにしてあります。靴の位置は左右で中央、かかと部分を測る場合には、門型の丸棒の位置に近い端に靴のかかとを合わせれば、かかとから約30mmになります。少し前にすればかかとから約25mmになります。これを基準にすれば靴の前後を合わせる目安になります。また下の板の位置は丸棒の中心から約60mmにしてありますので、靴のつま先の先端を板の端に合わせれば、約60mmになります。10mmずらせば、約50mmになります。

#### 4 靴底の厚さ規定

日本陸連の以下のURLで規定を確認してください。

<https://www.jaaf.or.jp/news/article/13996/>

## 5 計測例

この例では靴底厚が25mm以上40mm以下です。



## 6 図面

必要材料

(1)89mm×19mm×130mm の板 2 枚

(2)89mm×19mm×180mm の板 1 枚

(3)φ 10mm×175mm の丸棒 1 本

(4)180mm×300mm×5.5mm の板 1 枚

(5)必要に応じて補強金具 4 個、補強金具用ビス 12 本、釘 38mm4 本

